



学び合い 認め合い 高め合う学校 ～笑顔 感動 花いっぱいの南小～

南小だより

令和7年10月31日(金)第7号

校長 河野 裕一

【学校教育目標】

やさしく (徳) かしく (知) たくましく (体)

【11月の生活目標】

健康な体をつくろう

「聴く」ということ

先日の校内・公開音楽会には、多くの保護者、地域の皆様にご来校いただきありがとうございました。当日に向けての励ましや練習へのご協力にも、心より感謝申し上げます。

音楽会では「演奏する」と同じように、「聴く」ことの大切さについても子供たちに伝えています。また、本校では、学びの中で子供同士がつながるために「聴く」ことを大切にしています。

先日、その「聴く」ことについて深く考えさせられる詩に出会いました。抜粋してご紹介します。なお、次項には全文を掲載しています。

子どもの話を聴くときは、途中で止めたりしないでね
批判をしたりまとめたり、言い聞かせないでただ聴いて
おとなが口を開くとね、子どもの口が閉じてくよ
知りたいのなら、耳、開こう

子供の話を聴くとき、私たちはつい、途中で助け舟を出したり、「こういうことだね。」とまとめたりしたくなることがあります。けれどもその瞬間、子供はそれ以上、語ろうとしなくなることがあるのです。子供が言葉を紡ぐ時間は、大人が思うよりずっとゆっくりです。焦らず、耳を傾けること。その沈黙を受け止めることで、子供の本当の思いや葛藤が、少しずつ言葉になっていきます。言葉を急がず、耳を開いて待てる大人でありたいと思います。

子どもの不安を聴くときは、子どもの気持ちを感じてね
「なぜ?」「どうして?」が、問いつめに感じてしまうとき、あるの
子どもの心配、不安はね、「不安なの?」って繰り返してね
答えは、一緒に考えて

普段、学校の中で何かが起こり、当事者である子供たちと関わるときに、いつも心掛けたいと思っていることがあります。それは「どうして」と安易に尋ねないことです。大人の悪気のない、何気ない「問い」を「問い詰め」に感じてしまうと、子供は伝える言葉を失います。罪悪感があればなおさらです。代わりに、「どうした」と優しく尋ねてみます。すると、子供の口から、起こったこと、その時の気持ちや訳、そして反省の言葉までも出てくる場合があります。どうしての「て」。どうしたの「た」。たったの一文字を変えただけで、子供たちの様子が大きく違ってくるのです。

「よい『話し手』を育てるためには、まずよい『聴き手』を育てること」と言われます。子供が自分の思いを躊躇なく、積極的に、かつ適切に表すようになるためには、まずは子供を取り巻く私たち大人が、よい聴き手、受け取り手になろうと努めていく必要があるのではないかと思います。

子供たちの声を「聴く」ことはもちろんのこと、学校、家庭、地域も互いに声を聴き合い、支え合える関係でありたいと願います。今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

本記事やその他について、ご意見やご感想がありましたら、以下の URL にアクセスするか、

QRコードを読み取ってご記入ください。お待ちしております。<https://forms.gle/CGjqH7xA3Z5PDoe28>



「子どもの話を聴くときは」

出典：「子どもの話を聴くときは」
（兵庫県教育委員会 防災マニュアルに基づいて） 文：篠原久美子

1. 子どもの声を聴くときは、教えてもらう気持ちでね
一生懸命、耳傾けて、教えてもらおう、子どもの世界
子どもの世界の扉はね、内側からしか開かないの
信じるおとなに向かってね
2. 子どもの話を聴くときは、じっくり、ゆっくり、ゆったりね
言おうと思うと時間切れ、中途半端は苦しいよ
子どものつらさと言葉はね、外に出るまで時間がいるの
待ってる時間も、聴いてる時間
3. 子どもの話を聴くときは、「聴いてるサイン」を伝えてね
あいづちうって、うなづいて、子どもの言葉を繰り返し
不安な気持ちの子どもはね、小さな合図で安心するの
「ぼくを分かってくれてるな」って
4. 子どもの話を聴くときは、途中で止めたりしないでね
批判をしたりまとめたり、言い聞かせないでただ聴いて
おとなが口を開くとね、子どもの口が閉じてくよ
知りたいのなら、耳、開こう
5. 子どもの話を聴くときは、瞳のサインをみていてね
子どもはたいいとおとなのね、目なんか見ては話せない
それでも分かってくれたいとき、瞳で合図を送ってる
見逃さないで、みていてね
6. 子どもの話を聴くときは、顔の高さを合わせてね
上から見下ろされるとね、だれでもちょっと堅くなる
視線の低い子どもにね、しゃがんで視点を合わせてね
子どもが話しやすいから
7. 子どもの話に答えるときは、声の調子を同じにね
大きな声や高い声、おとなのいろいろ伝わるよ
子どもは意味を知らなくてもね、声で気持ちが分かるんだ
言葉が出にくくなっちゃうよ
8. 子どもの不安を聴くときは、子どもの気持ちを感じてね
「なぜ?」「どうして?」が、問いつめに感じてしまうとき、あるの
子どもの心配、不安はね、「不安なの?」って繰り返してね
答えは、一緒に考えて
9. 子どもの不安を聴くときは、すぐに原因、決めないで
「地震のせいだ」「性格だ」、決めてもそれは答えじゃないの
子どもを取り巻く世界もね、子どもの心も単純じゃない
広く大きな視野で見て
10. 子どもの悩みを聴くときは、子どもの力を信じてね
しっかり聴いて、じっくり支え、色んな見かたのアドバイス
だけど最後は子どもがね、子ども自身で解決するの
おとなが信じた子どもはね、乗り越えられるよ、大丈夫

学校応援団（ボランティア）について

本校の教育活動を、支えてくださっている学校応援団（ボランティア）の皆様をご紹介します。皆様の温かな眼差しが、子供たちの健やかな成長につながっています。いつもありがとうございます。

なお、応援団（ボランティア）は随時募集しています。興味のある方は学校までご連絡ください。

【登下校見守り隊】

登下校時の児童の安全を見守ってくださっています。毎日の見守りのおかげで、子供たちは安心して登下校できています。



【環境美化ボランティア】

季節ごとに色とりどりの花を植えてくださっています。花壇の前を通るたびに、心が明るく温かい気持ちになります。



【図書室環境ボランティア】

図書室内や職員室前、図書室前の廊下に、季節に合わせた飾り付けをしてくださっています。季節の移ろいを感じながら、本に親しめる空間となっています。



【読み聞かせボランティア】

週1回、朝読書の時間に本の読み聞かせをしてくださっています。お話の世界に触れることで、読書への興味や関心を高めるきっかけになっています。



学校ホームページでも学校の様子を随時掲載しております。「お気に入り」等にご登録いただき、ご覧ください。<https://minamies.edumap.jp/>

